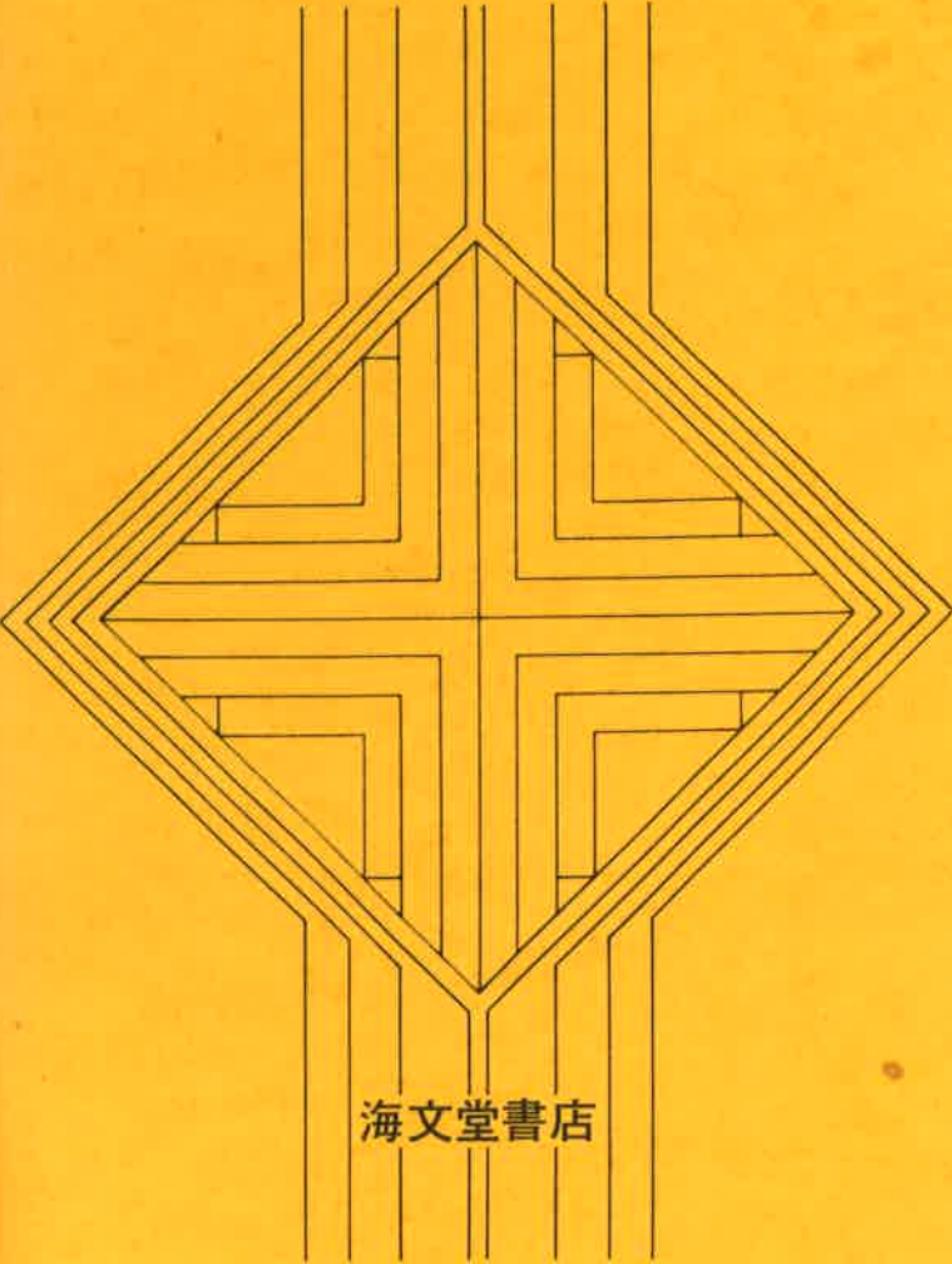


# 神戸読書手帖



海文堂書店

## 目 次

## 1 本屋の自己弁護

島 田 誠

『本屋は、本を読まない』『本屋は本を知らない』と、人にも言われ、物にも書かれ、電波にも乗り、巷に喧伝され、言わば定説となつたが如きこの言葉ほど我々を切歎扼腕させるものは無い。学生時代から、音楽と、原稿用紙に散文もどきの稚拙な詩を書きつけることと、ひまさえあれば古文書とか稀観本漁りなどという高級なものでないにしても、ひたすら安くて面白そうな本を捜して、古本屋さんをはしごして歩くことを無上の喜びとしていた私が、運命の巡り合わせでこうした新刊書店に職を求める事となり、これで心ゆくまで本が読めるぞ……と喜んだのも束の間。毎日毎日大量の本の洪水の中でアップアップ。「これでは、まるで倉庫業やな——。」偽らざる感想です。自分にノルマを課し、通勤電車の中でも、お昼ご飯の時も、熱中すればトイレの中でもお風呂の中でも本を離さぬ活字中毒症でも、とても、本に精通しています、などとは言えたものではない。お客様に聞かれれば必死に総目録を繰り、棚に眼を凝らすこととなるのです。最初にあげた批判は(一)古書店と比較して、(二)ヨーロッパの書店と比較して(三)お客様自身の知識に比較して、の三つのパターンがあるようです。いずれの場合も、本当は基礎としての読書環境(読書人口、流通の仕組み、出版のあり方等)のちがいが考慮されていないと、小生などは

---

\*書物は友人と同様、数少くあるべきであり、そしてよく選択されるべきである。(トーマス・フラー)

考えているのですが。

古書店が専門化し、新刊書店が総合化していくのは、それぞれに由<sup>ゆえ</sup>のある事なのです。現今、再販制の問題、返品増の問題、出版物の質的低下の問題等、マスコミを賑わし、出版物が問われている問題は山積しています。いずれは、読者の皆さんのが冷厳な審判を受けるでしょう。(徐々に判定は下りつつあるともいえます)

この小冊子は、本を愛する人々のために極めて不充分ではありますが、より本について知っていただく手引きとして作成いたしました。と同時に、「本屋は、本を知らない」といわれぬように今後も努力を続けてゆくことの、私共の一つの証しでもあります。



---

\*有益な書物とは、読者に補足を要求せずにおかぬよううな書物のことである。(ヴォルテール)

## 〔2〕出版流通をささえる二本の柱

### ——委託販売と定価販売——

現在、書店に並んでいる本は、大きく分けて、(1)委託品と、(2)買切品とに分けることができます。買切品には、出版社の側で「返品不能」を建前としている本、書店から注文した本がこの中に入ります。

委託品は、期間によって(ア)新刊委託（毎日のように書店に送りこまれてくる最新刊の書籍群）と、(イ)長期委託品（普通4～6ヶ月間、商品として展示することを目的とした再版・重版もののセット商品群）(ウ)常備委託品（出版社と書店との契約書に基いて、通常1カ年の店頭展示が義務づけられた出版社別商品群）に分類することができます。しかし、実際にはもっと複雑な流通の仕組みがあり、それぞれの書店では、「買切商品」を委託商品とさまざまに組み合わせて個性的な店づくりをしています。この他業界に見られない委託制度は出版界の繁栄をつくる素地であると共に、諸々の歪みの元凶でもあり、功罪半ばしているといえます。

もう一つ本の流通上の特徴は定価販売ということにあります。本は全国のどの書店でも定価で売られています。この定価販売制は、昭和28年「独占禁止法改正」によって、この法律の適用除外の指定を受けて以来の制度で、現在もこの法律の保護下にあります。

最近、スウェーデンでほぼ日本と同じ制度を廃棄したため、書店業界の衰微と出版界の荒廃、本の異常な

---

\*私は書物のなかで、私がかつて生活のなかで聞いたことがないような、思想に出会うことは稀れであった。

(ゴーリキー『私の大学』)

値上がりを招いたという事実があります。文化的価値をもった商品としての本の位置付けを慎重に配慮する必要がある、といえそうです。



---

\*その中に一片の哀れみをももたぬ書物なり詩なりは書  
かれない方がいい。（オスカー・ワイルド）

### 3 読書110番

私たちの書店で、日頃お客様からお問い合わせの多いことがらを『Q & A』スタイルでまとめてみました。選書の際の一助に、本のことでお困りの時、ご覧ください。

(問1) 本を買ったのですが、読んでいるうちにページがとんでいるのを見つけました。文字を書きこんでいるのですが、取り替えてもらえますか。

(答) 買ってから日数がたっていても、線や文字を書きこんでいても、乱丁や落丁の場合は無条件に取り替えてもらえます。その本を買われた書店にお申し出ください。

(問2) 本がダブってしまったのですが……。

(答) お客様の都合によるこのような場合、書店によって対応が違うようです。当店ではレシートを添えて早目にお申し越しの時、他本との交換または返金させていただいています。

(問3) 電話で注文したいのですが、できますか。

(答) お客様からのご注文品はすべて返品不能ですので、ご来店いただくのが普通です。

(問4) 本を注文したら「二週間はかかりますが、いいですか」と言われました。どうしてそんなに時間がかかるのですか。

(答) 注文がどこで何日間滞留しているか、書店ではわかりませんが、出版点数が飛躍的に拡大し

---

\*科学については、つとめて最新の著書を読め。文学についてはもっとも古い作品を読め。古典文学はつねに近代的であるから。(ブルワー・リットン)

ている今日取次店（問屋）の中での作業・出版社での作業もいよいよ複雑になっています。それに、出版社・取次店が東京に集中していることもあって、東京から離れるほど日数がかかるのが普通です。神戸で2～3週間といったところが実情です。

（問5）新聞に載っている本が書店にないので困っています。見てから買いたいと思っているのですが。

（答）書店に本がない一番の理由は、配本数が少くて売り切れになっているケースです。ほとんどの新刊書は書店に入ってきていますのでご覧になれると思いますが、なかには印刷部数の少ない本、書店からの注文がないと入らない本もあります。当店では店頭にない時はご注文いただいたら、特別の場合（買切品など）を除いて、お取りよせしていますのでご覧いただけます。

（問6）本を郵送してほしいのですが、できますか。

（答）書店によって違いがあると思いますが、郵送はしていないことが多いようです。当店では一万円以上お買いあげの方に神戸市内は無料配達・発送を、その他はお買い上げ額にかかわらず全国どこでも、実費にて郵送をしています。

（問7）書名しかわかりませんが、その本がどうしても欲しいのです。手に入るでしょうか。

（答）書名が判明している場合、書店でその本の入手の可・不可は調べることができます。在庫があれば入手できます。

---

\*法律は死ぬ。しかし、書物は決して死はない。

（リットン）

(問8) 雑誌のバックナンバーはとりよせることができますか。

(答) できます。出版社に在庫のある限り入手できます。

(問9) 本を買いたいのですが、高額なので分割払いにできないものでしょうか。

(答) 現在、高額本の場合、分割支払いのできる書店がふえてきています。書店でおたずねください。当店では一万円からご利用いただける「海文堂ローン」がございます。

(問10) 山口県のある出版社の本ですが、書店で注文したら手に入るでしょうか。

(答) 東京に地方・小出版流通センターというところが昭和52年にできましたので、地方出版物についてもかなりカバーできるようになりました。ここで扱っている出版社の本はとりよせることができます。

(問11) サイン本を時々見かけますが、あれは定価で売っているのですか。

(答) もちろん定価です。安心して著者の直筆サイン本をお求めください。

(問12) 単行本で欲しいなあと思っている本がありますが、文庫本になってからと思っています。文庫化のサイクルはどのくらいですか。

(答) 出版社によっていろいろ違っていますから一概に言えません。雑誌の連載からいきなり文庫

---

\*人生は非常に短い、しかもその中の静かな時間はあまりにすくない。私たちはつまらない本を読むことによって、その一時間をも浪費すべきではない。

本になることもあります、新潮社のように単行本が出てから二年以上というところもあります。

(問13) 専門書はどうして高いのですか。

(答) 専門書になりますと、どうしても読者が限定されてしまいます。そのために刷部数も少なくなり、一冊あたりの価格が一般書に較べて高くなっています。

(問14) 岩波書店の「西田幾太郎全集」を定期的にとりたいのですが、どうすればいいのですか。

(答) もよりの書店でその旨お伝えください。書店で定期台帳に記載して、発行の都度ご連絡のうえ、保管してくれます。ただ、予約出版・限定版の場合ですと、普通発行日前でないと受け付けていませんからご注意ください。

(問15) 教科書を紛失したのですが、書店で手に入りますか。

(答) 教科書販売時期の三・四月は学校受持書店でお求めになれます。五月以降は、一般書店を通じてもとりよせることができます。

(問16) 海図を買いたいのですが、どこへ行けば手に入れますか。

(答) 日本水路図誌(電話 [redacted])で販売しています。日本水路図誌は大阪商船ビル4階にありますのでお問い合わせください。

(問17) 帝国地理院発行の2万5,000分の1の地図が欲しいのですが、神戸市内でおいているところがあります

---

\*まず第一級の本を読み、でなければそれを読む機会を  
せんせんもたなくなるかもしれません。(ソロー)

すか。

(答) 知っている範囲内では、全国にわたってお  
いているのは海文堂書店とコーベブックス、兵庫  
県を中心とした区域の地図は日東館書林と宝文館  
書店・南天荘書店（阪急六甲支店・メイン六甲支  
店）にもあります。

(問18) 図書券はいくらから買えて、いつまで使える  
のですか。また買った時手数料がいるのですか。500円  
の図書券で450円の本を買った時釣銭は出してもらえま  
すか、教えてください。

(答) 図書券は100円から買うことができ、手数料  
は不要ですし、いつまでも、全国の書店でご使用  
になれます。釣銭につきましては、当店では出  
しておりますが、釣銭の代わりに預り証を発行して  
いるところもあります。

(問19) 自費で本をつくったのですが、書店で売って  
もらえますか。また販売面でなにに気をつけたら良い  
のですか。

(答) 自費出版物を書店であつかうかどうかは、  
書店によって異りますし、出版物の内容によって  
もまちまちです。けれど、勇気をもって書店にと  
びこんでください。販売面では、定価の2～3割  
を書店の手数料として考えておくこと、納品書を  
発行すること、書店の担当者を確認すること、支  
払方法・支払条件をはっきりしておくことが大  
切です。

---

\*ことごとく書を信ずれば、書無きにしかず。（孟子）

(問20) 新聞の書評欄の記載日を教えてください。

(答) 現在、各新聞の書評欄の掲載曜日は次の通りです。

朝日新聞	日曜日朝刊
読売新聞	月曜日朝刊
毎日新聞	月曜日朝刊
神戸新聞	水曜日朝刊
日本経済新聞	日曜日朝刊

(問21) 点字図書を利用したいと思っているのですが、どこに行けば貸してもらえますか。

(答) 点字図書は、兵庫県立点字図書館(電話 [ ] )と神戸総合福祉センター内点字図書館(電話 [ ] )で借りることができます。

県立点字図書館には現在、タイトル数で3,741、冊数で9,864冊の蔵書があります。ここでは文学が1,665冊、医学関係が565冊と、この2つの分野に力が注がれています。

それから、テープの利用は日本赤十字社兵庫県支部点字図書館テープライブラリー(電話 [ ] )にお問い合わせください。ここにはテープ約1,800本をそろえて盲人の為の無料貸出しをおこなっています。簡単な登録をすると、郵送でテープの貸し出しをすることができます。

---

\*本とは、私にとって、考えるきっかけ、発想の刺戟を与えてくれる手段の一つにすぎないのだから、初めから順々に読んで一冊を読み終えることは殆んどない。

## 4 読書論

知的な生活をクリエイトする読書、さまざまな読書にまつわる文章のなかから次の本を選んでみました。心と生活をひらく読書の案内役としておすすめいたします。

### a) 技術・方法論としての読書論 —————

#### 『現代読書の技術』

紀田順一郎著 柏書房 1,800円

#### 『知性派の読書学』

紀田順一郎著 柏書房 1,800円

#### 『知的生活の方法』(新書)

渡辺 昇一著 講談社 370円

#### 『読書法』 日科技連出版社 350円

#### 『読書術』 加藤 周一著 光文社 500円

#### 『現代人の読書』(新書)

紀田順一郎著 三一書房 480円

#### 『読書と人生』(文庫)

三木 清著 新潮社 160円

#### 『読書論』(文庫)

亀井勝一郎著 旺文社 220円

#### 『読書論』(新書)

小泉信三著 岩波書店 280円

#### 『読書と或る人生』(選書)

福原麟太郎著 新潮社 700円

#### 『なつかしい本の話』

---

\*愚者は名だかい作者のものならなんでも贊美する。私はただじぶんのためにだけ読む。(ヴォルテール)

江藤 淳著 新潮社 1,200円

『読書人の立場』

谷沢永一著 桜楓社 1,200円

『私の読書と人生』(文庫)

清水幾太郎著 講談社 280円

『文学入門』(新書)

桑原武夫著 岩波書店 280円

『読書は喜び』 向坂逸郎著 新潮社 980円

b) 啓蒙的な読書論・読書案内

『ベストセラーブック』(上)・(中)・(下)(選書)

朝日新聞社 各 860円

『本とつきあう法』

中野重治著 筑摩書房 1,400円

『読書案内』(上)・(下)

加藤周一著 朝日新聞社 各 980円

『私の読んだ本』(新書)

松田道雄著 岩波書店 280円

『私の人生を決めた本』(新書)

三一書房 480円

『私の読書法』(新書)

大内兵衛他著 岩波書店 280円

c) 教育的読書論

『子どもと読書』

代田 昇著 新日本出版社 400円

『子どもの成長と読書』

日本子どもの本研究会編 岩崎書店 750円

\*古人すでに死すといえども書上その辞あり、巻を開きて読み、かつ想えば、千載の下相期するが如し。(韓愈)

**「集団読書のすすめ」**

日本子どもの本研究会編 金の星社 780円

**「母と子の20分間読書」**

椋 島十著 あすなろ書 800円

**「子どもを伸ばす読書」**

小野正名著 三省堂 250円



---

\*全集を読むというのは、ひとりの作家の人生に触れる  
という点で、代表作だけを読むのとは違った関係を、  
作者と読者のあいだに作り出す。（辻井喬）

## 5 文章論

文章を書くということは、自分を語ること、自然を語ること、社会を語ること。さまざまな創造と自己実現のための文章論を紹介いたします。

### a) 文章とは何か

「文章読本」 谷崎潤一郎著 中央公論社 580円

「文章読本」(文庫)

三島由起夫著 中央公論社 220円

「新文章読本」(文庫)

川端康成著 新潮社 140円

「文章読本」 中村真一郎著 文化出版局 900円

「文章読本」 丸谷才一著 中央公論社 980円

### b) 文章表現

「私の文章作法」(新書)

清水幾太郎著 潮出版社 250円

「日本語の技術」

清水幾太郎著 ごま書房 630円

「新版悪文」 岩淵悦太郎編 日本評論社 880円

「文章の作り方(改訂版)」

塩田良平著 明治書院 980円

### c) 考える技術・書く技術

「知的生産の技術」(新書)

梅棹忠夫著 岩波書店 280円

「考える技術・書く技術」(正)・(続)(新書)

板坂 元著 講談社 各 390円

\* 読書についてやしただけの時間を考えることについてやせ。

(アーノルド・ベネット)

**『文章の実習』**

大隅秀夫著 日本エディタースクール出版社 980円

**『日本語の作文技術』**

本多勝一著 朝日新聞社 980円

**『論文の書き方』(新書)**

清水幾太郎著 岩波書店 280円

**『取材学』(新書)**

加藤秀俊著 中央公論社 340円

**『整理学』(新書)**

加藤秀俊著 中央公論社 340円

**『「知」の探検学』(新書)**

川喜田二郎著 講談社

**『文章を書く技術』(新版) (文庫)**

平井昌夫著 社会思想社 360円



---

\* 読書百遍、意おのずから通ず。 (『魏略』)

## ■ 6 神戸の書店

神戸の書店をご案内いたします。知的なクリエイトの広場としてお気軽にお問い合わせ、お立ち寄りください。

### ■ 東灘区

**宝盛館本店** 東灘区御影本町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**キティー**

東灘区御影町郡家字上山田 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**甲南堂** 東灘区岡本 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**本山宝盛館** 東灘区岡本 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**小原光文堂** 東灘区住吉町中島 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**ヒカリ書店** 東灘区魚崎北町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**大文堂書店** 東灘区深江北町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**ロマン書房** 東灘区岡本 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**北村書店** 東灘区御影中町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

### ■ 瀬戸内海沿岸区

**灘宝文館** 瀬戸内海沿岸区天城通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**南天莊書店** 瀬戸内海沿岸区永手町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**中央堂書店** 瀬戸内海沿岸区倉石通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**岩崎書店** 瀬戸内海沿岸区水道筋 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**オクダ書店** 瀬戸内海沿岸区森後町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**コトブキ書店** 瀬戸内海沿岸区森後町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**赤坂書房** 瀬戸内海沿岸区赤坂通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**啓文館** 瀬戸内海沿岸区王子町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**雄倉書店** 瀬戸内海沿岸区深田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

---

\* 本は人生を楽しむことを教えるか、さもなくば人生を我慢することを教えるものでなければならない。

(サミュエル・ジョンソン)

## 木村書店（大石店）

灘区大石東町 [REDACTED] (B S ショッピングセンター内)

(電) [REDACTED]

## 南天荘書店（阪急六甲支店）

灘区宮山町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

## 南天荘書店（メイン六甲支店）

灘区深田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

## ■ 莳合区

### 文洋堂 莳合区御幸通 [REDACTED] (神戸国際会館1階)

(電) [REDACTED]

ラン書房 莳合区布引町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

カスガノ書店 莳合区筒井町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

雅美書房 莳合区琴緒町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

昭和書房 莳合区割塚通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

## ■ 生田区

流泉書房 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

日東館書林 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

丸善神戸支店 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

海文堂書店 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

### 海文堂書店（メトロ神戸店）

生田区多聞通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

大阪宝文館 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

## コーベブックス

生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

淳久堂書店 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

第一書房 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

\* 押しつけがましくない読書や音楽は、真理に波長を合わせるというか、チューニングする、あるいは何かをキャッチする心の状態を、知らず知らずに準備してくれる。（広中平祐）

**りりぶる元町 生田区北長狭通** [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**兵庫書店**

**生田区北長狭通** [REDACTED] (官有地138) (電) [REDACTED]  
**漢口堂書店 (三宮店)**

**生田区三宮町** [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**陽光書店**

**生田区北長狭通** [REDACTED] (高架下56号) (電) [REDACTED]  
**ふたば書房 (神戸大丸店)**

**生田区明石町** [REDACTED] (神戸大丸6F) (電) [REDACTED]  
**ブックスパピー**

**生田区北長狭通** [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**コーベブックス (サンコウベ店)**

**生田区相生町** [REDACTED] (神戸駅前地下街) (電) [REDACTED]

## ■兵庫区

**神文館** 兵庫区新開地 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**漢口堂書店** 兵庫区荒田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**ヤギヤ書店** 兵庫区塚本通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**サチ書店** 兵庫区羽坂通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**隆司書房** 兵庫区西古湊通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
**熊谷書店** 兵庫区菊水町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**神文館 (メトロ神文館)**  
兵庫区新開地 [REDACTED] (電) [REDACTED]

## かもめ書房本店

兵庫区大開通 [REDACTED] (神鉄ビル2F) (電) [REDACTED]

■北区  
**スター商会** 北区鈴蘭台北町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

---

\*古典とは、だれもが読んでおかなくてはと思い、その  
くせ、だれもが読みたがらない、そういうったものだ。  
(マーク・トゥエーン)

**かもめ書房** 北区鈴蘭台北町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**漢口堂書店 (西鈴蘭台店)** 北区南五葉町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**山の街書店** 北区緑町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**流泉書房 (有野台店)** 北区有野台 [REDACTED] (電) [REDACTED]

### ■長田区

**敬林館** 長田区長田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**アイヨ堂書店** 長田区長田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**秋田百文館**

長田区腕塚町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**高田屋書店** 長田区二葉町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**松善書店** 長田区五番町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

### ■須磨区

**岡本書房 (板宿営業所)**

須磨区前池町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**神戸書林** 須磨区大黒町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**新文堂** 須磨区行幸町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**井戸書店** 須磨区平田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**漢口堂書店 (白川台店)**

須磨区白川台(白川センター2F) [REDACTED] (電) [REDACTED]

**博文堂** 須磨区月見山本町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

### ■垂水区

**文進堂書店** 垂水区日向 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**有紀書店** 垂水区仲田 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**広文館** 垂水区神田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

---

\* 書物のほんとうの喜びは、なんどもそれを読み返すことにある。 (D・H・ロレンス)

テラオ書店 垂水区城ヶ山 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
まいこ書房 垂水区東舞子町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
文栄堂書店 垂水区霞ヶ丘 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
舞子書苑 垂水区舞子台 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
塩屋書店 垂水区青山台 [REDACTED] (電) [REDACTED]

**日東館書林（垂水駅店）**

垂水区神田町神田 [REDACTED] (垂水駅たるせん東館)  
(電) [REDACTED]

**漢口堂書店（明舞店）**

垂水区狩口台(明舞センタービル) (電) [REDACTED]  
新星堂 垂水区星陵台 [REDACTED] (電) [REDACTED]



---

\* 端的に心に訴える一種素朴な趣味がある。そしてこれ  
こそ古典のなかにしかみいだされぬものだ。 (ルソー)

## 7 神戸の古書店

神戸の古書店をご案内いたします。貸本業を兼ねている古書店、および貸本店は店名の左に△印をつけて示しています。

### ■東灘区

△金星書房	東灘区住吉町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
繁美社	東灘区本山中町 [REDACTED] (電) [REDACTED] / 浮世絵版画・南蛮美術他
小牧書店	東灘区御影本町 [REDACTED] (電) / 古書籍一般
坂本書店	東灘区住吉宮町 [REDACTED] (電) / 古書籍一般
笛書店	東灘区本山町岡本中島 [REDACTED] / 古書籍一般 (電) [REDACTED]
△森文庫	東灘区本山町森昭和通 [REDACTED] / 新刊書・古書 (電) [REDACTED]

### ■灘区

あづま書房	灘区神ノ木通 [REDACTED] / 古書籍一般
△宇仁菅書店	灘区森後町 [REDACTED] (電) [REDACTED] / 古書籍一般
右文館	灘区桜口町 [REDACTED] (電) [REDACTED] / 新刊書・古書籍
△国玉書房	灘区上野通 [REDACTED] (電) [REDACTED] / 新刊書

---

\* 本には本のたたずまいというものがある。一冊の本が  
読みて手わたす言葉には、どこかにその本のもつた  
たずまいが影を落としている。 (長田弘)

△常盤木書房 滨区高徳町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 新刊書

△ネオ書房 滨区鹿ノ下通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 新刊書

△ふじ書房 滨区国玉通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

△松下書店 滨区水道筋 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍

丸井書店 滨区桜口町 [REDACTED]

/ 新刊書・古書籍

### ■ 莘合区

勉強堂書店 莘合区八雲通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍一般

マナ書房 莘合区布引 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍一般

### ■ 生田区

あかつき書房 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍一般

△くすのき書店 生田区楠町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

倉書房 生田区元町高架通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍一般

黒木書店 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 学術書・文学・趣味本

鯉川書房 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 古書籍一般

皓祥館書店 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]

/ 社会科学・限定趣味本

---

\*本を読みたいという熱心な人間と、読む本がほしいというタイクツした人間とのあいだには、たいへんな違いがある。(チェスター・トン)

- 皓露書林** 生田区元町通 [REDACTED]  
/ 文芸書・初版本
- 古書肆多聞** 生田区橋通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 和本・古文書資料・一般書
- 古書店つのぶえ** 生田区元町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 基督教書・児童書・一般書
- 後藤書店** 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 歴史・文学・美術・全集
- こばると書房** 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 学術専門図書・雑誌
- 笠野書店** 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 新刊書・古書
- 三宮書房** 生田区北長狭通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 古書籍一般
- 三陽書籍** 生田区橋通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 一般書
- △書房アメカゼ** 生田区三宮町 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 古書籍一般
- 清泉堂** 生田区加納町 [REDACTED]  
/ 古書籍一般
- △瀬川書店** 生田区下山手通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 新刊書・古書籍
- 西井書店** 生田区下山手通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 郷土資料・バックナンバー
- 俳文堂** 生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]  
/ 詩歌句・限定版・短冊

---

\* きわめてガサツな人間だけが、いま流行の文学におくれまいとする。 (G・エード)

<b>文紀書房</b>	生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/郷土史・美術・書道・易学
<b>元町書院</b>	生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/政経・文芸
<b>門書店</b>	生田区元町通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/文学・歴史・美術芸能・法経
<b>有文堂書店</b>	生田区北長狭通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/新刊書・古書

### ■兵庫区

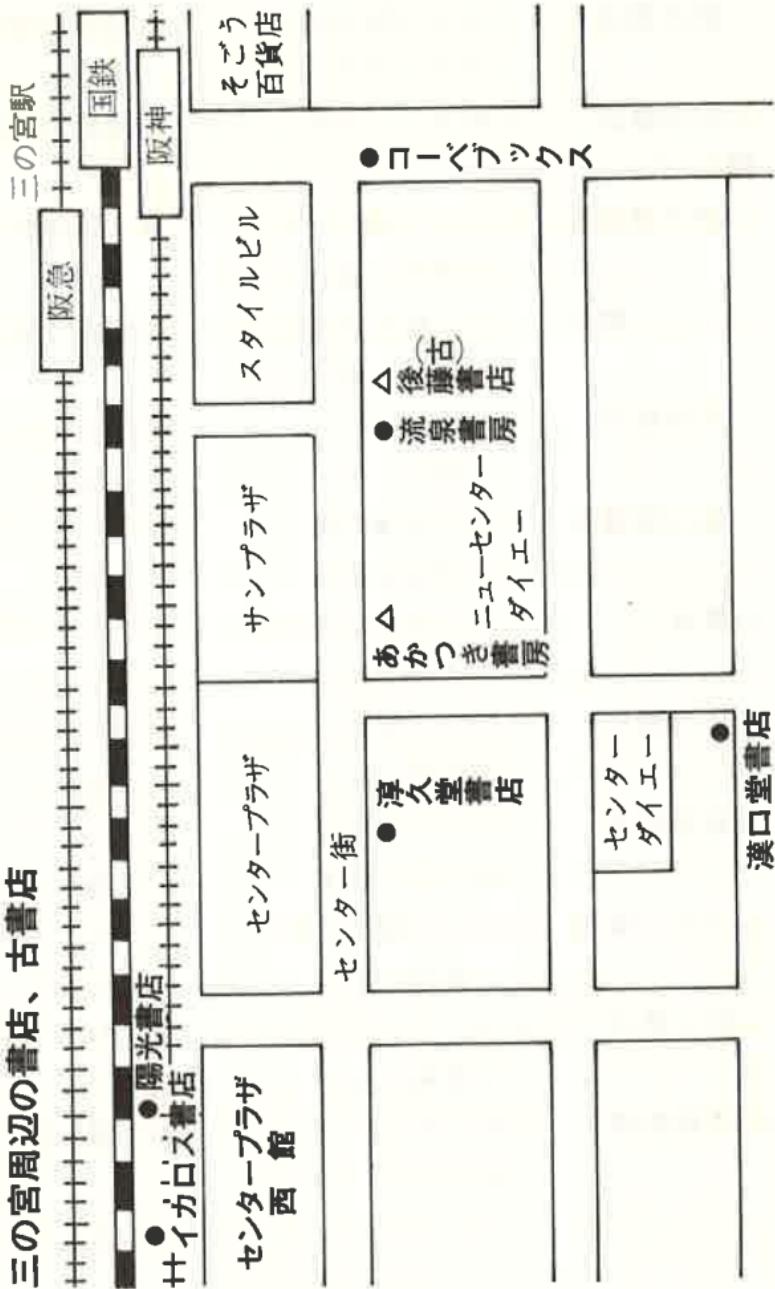
<b>今吉書店</b>	兵庫区下三条町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般
<b>上崎書店</b>	兵庫区中道通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般
<b>△かめや書店</b>	兵庫区上沢通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/新刊書・古書籍
<b>東洋堂書店</b>	兵庫区東出町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般
<b>藤本書屋</b>	兵庫区下祇園町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般
<b>文有堂</b>	兵庫区東出町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/趣味・文学・一般資料
<b>△まごころ文庫</b>	兵庫区荒田町 [REDACTED] (電) [REDACTED]
<b>松村書店</b>	兵庫区小松通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般
<b>森田書店</b>	兵庫区古湊通 [REDACTED] (電) [REDACTED]
	/古書籍一般

\*ある書物は味読され、他の書物はのみ下される。よく  
かみくだいて消化される書物はあまり少い。(ペーコン)

<b>柳原書店</b>	兵庫区西柳原町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 宗教・美術・小説	[REDACTED]
<b>△山田書店</b>	兵庫区下三条町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
<b>■長田区</b>		
<b>伊丹屋書店</b>	長田区大橋町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△エト一書店</b>	長田区御屋敷通 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△大島書店</b>	長田区腕塚町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>集文館書林</b>	長田区海運町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 大衆文学書	[REDACTED]
<b>△書房B</b>	長田区御屋敷通 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△大八書店</b>	長田区大橋町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△名倉書房</b>	長田区名倉町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 新刊書・古筆	[REDACTED]
<b>△フタバ書房</b>	長田区大塚町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△村上書店</b>	長田区駒ヶ林町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 古書籍一般	[REDACTED]
<b>△八島書房</b>	長田区片山町 [REDACTED]	(電) [REDACTED]
	/ 新刊書	[REDACTED]

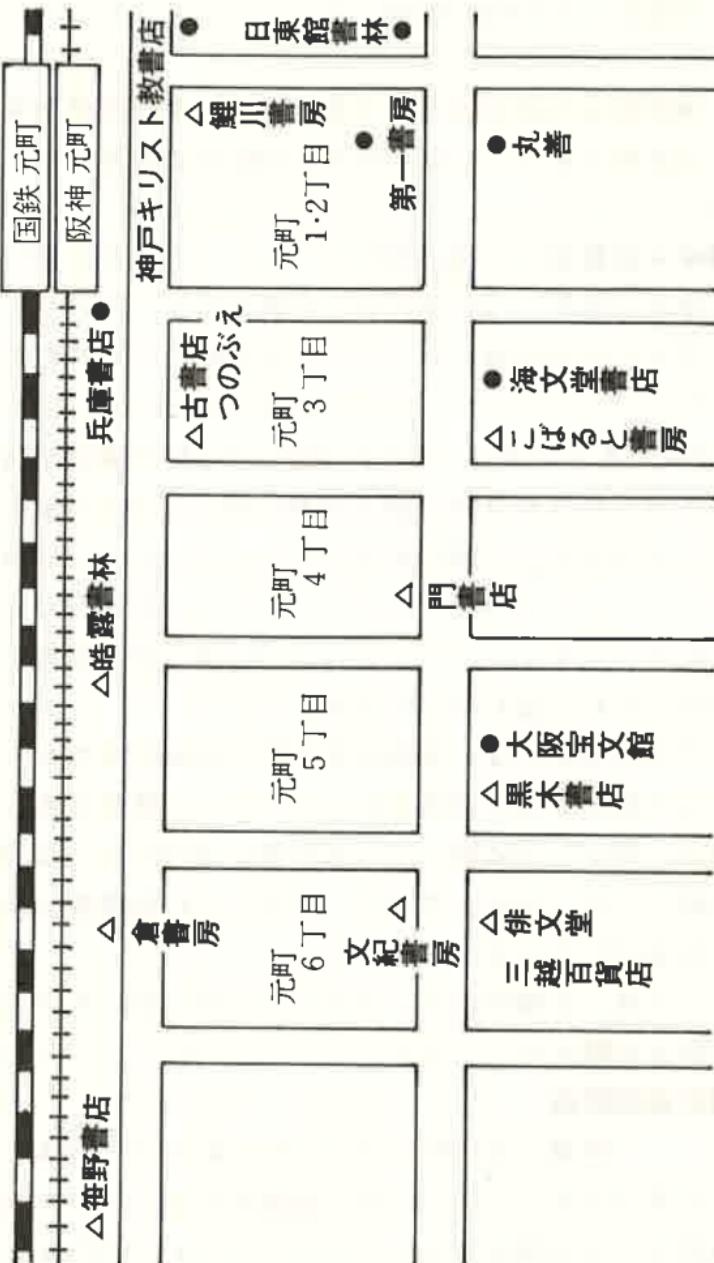
\* いまの子供は本を読まない、と聞く。私にもそう見える。本を捨てる生き方に惹かれないではないが、はじめから本を読まないというのは、やっぱり淋しいことだ。 (高田宏)

## 三の宮周辺の書店、古書店



\*いい本を読むとき、私は三十年も生きられたらと思う。  
(エマーソン)

## 元町周辺の書店・古書店



\*悲しいかな！ 最大のよろこびをあたえるものは書物  
であり、最大の苦悩の原因となるものは人間である。  
(ジュウベル)

## 10 公立図書館案内

神戸市立の各図書館をご案内いたします。読書生活に図書館を加えて、ゆたかな知的空間をお築きください。

### ■中央図書館（生田区楠町 [ ] (電) [ ] ）

中央図書館には約30万冊の蔵書があり、そのうち児童書は約12,000冊、レコードが2,389枚、スライドが500本、マイクロフィルムが3,076本、カセットテープが507本あります。ここの相談室には『神戸開港・居留地・神戸村資料目録』『郷土資料目録』などの目録が備えてあります。公開図書室のワン・コーナーに設置されている市史資料室では神戸に関係のある資料が集められていますし、コピー・サービス（B4・A4判1枚30円）もおこなわれています。

中央図書館には、図書館から遠い地域の方たちのために自動車文庫が設置されています。自動車文庫の蔵書は、現在15,265冊（うち児童書6,747冊）で、2,000冊積の「みどり号」で毎月一回きめられたステーションを巡回しています。

その他、定期的にレコード・コンサート、サンデー子供会が開かれています。

### ■東灘図書館

（東灘区本山町岡本 [ ] (電) [ ] ）

東灘図書館には29,121冊の蔵書があり、そのうち児童書は11,153冊あります。ここでは、すべての資料を

---

\*思想や行動にくらべ言葉はなり上がりものだ。われわれの読むべきは言葉ではなくて、言葉の陰にいると感じられるひとだ。（サミュエル・バトラー）

貸し出しすると共に、毎週日曜日11時から、子どものためのお話しの会が開かれています。

■王子図書館（灘区王子町）（電）

王子図書館には約21,000冊の蔵書があり、そのうち児童書は約5,500冊あります。そのほかラボ用テープ82本が備えられています。ここは他館にみられない落ちついた雰囲気の図書館で、洋書では、英米文学・語学関係書の収集に力がそそがれています。毎年読書週間には文学講座が開かれています。

■長田図書館（長田区池田上町）（電）

長田図書館には38,592冊の蔵書があり、そのうち児童書は9,890冊あります。ここは多くの児童書をもち、紙芝居の貸出などどもの人気を集めています。

■三宮図書館（葺合区雲井通）

神戸新聞会館9階（電）

三宮図書館には12,489冊の蔵書があります。ここは商店街の人たちや通勤者を対象にした図書館で、館外貸出業務を専門に取扱っています。

■西神図書館（垂水区伊川谷町潤和）

西神文化センター4階（電）

西神図書館には約15,000冊の蔵書があり、そのうち児童書は約5,000冊あります。ここでは軽い読物や実用書・児童図書の収集に力を入れており、農業関係の図書が多いのも一つの特色になっています。

■北区民センター図書館

（北区鈴蘭台西町）（電）

---

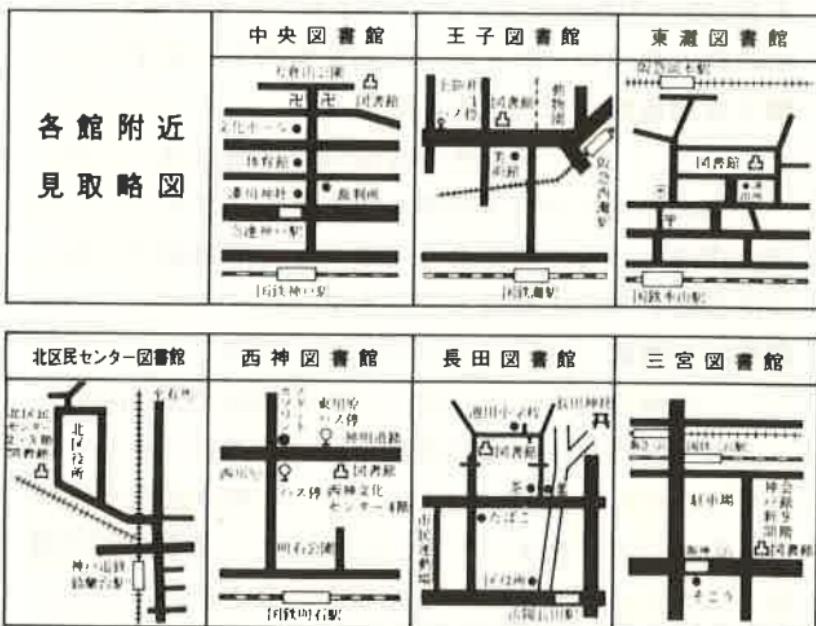
\*古典が生きながらえるのは倫理的理由によってではない。

それは歓喜の泉だからだ。（アーノルド・ベネット）

北区民センター図書館には35,148冊の蔵書があり、そのうち児童書は11,106冊あります。ここでは、絵本や児童書の収集に特に配慮がはらわれています。

○ご案内いたしました図書館の開館時間と休館日の詳細は各館にお問い合わせください。毎週の休館日は、中央・東灘・王子・長田・北の各図書館が月曜日、三宮・西神図書館が日曜日となっています。

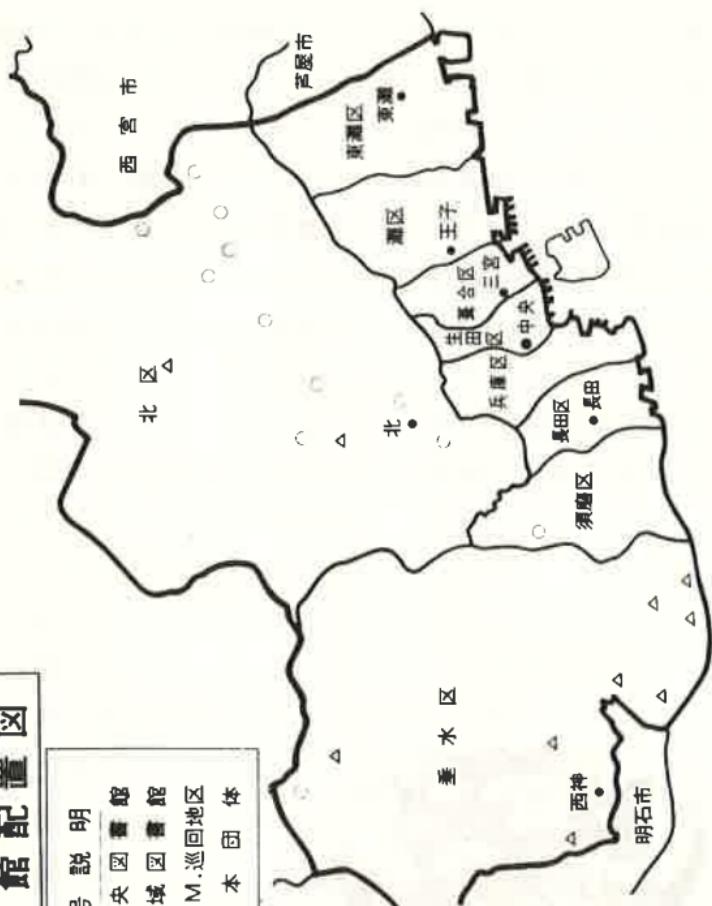
### ■各図書館の見取図略図



\*本は読むものではなく引くものだ。 (大宅壮一)

## 各図書館配置図

記号説明	
◎	中央図書館
●	地域図書館
○	B.M.巡回地区
△	配本団体



\*同志よ。これは本ではない。これにふれるものは人間  
にふれるのだから。(ホイットマン)

## ■兵庫県立図書館

(明石市明石公園) (電)

神戸市内ではありませんが、兵庫県立図書館が国鉄・山陽電鉄明石駅から徒歩13分のところに昭和49年10月に設立され、広く利用されています。県立図書館には現在約75,000冊の蔵書があり、そのうち郷土出版物が4,000冊ふくまれています。児童書はありませんが、郷土出版物は、開館以降発行されたものほとんどを揃えています。年10回ちかく「読書のつどい」が開かれ、コピー・サービス（B4判1枚40円）もおこなわれています。開館時間は9：30～17：00、定休日は毎週月曜日、毎月16日、祝祭日となっています。



---

\*十分に読み、がたくさん読むな。（小プリニウス）

## 11 出版社の P R 誌一覧

誌名	(発行頻度)	出版社
『図書』	(月刊)	岩波書店
『波』	(月刊)	新潮社
『青春と読書』	(月刊)	集英社
『本』	(月刊)	講談社
『みすず』	(月刊)	みすず書房
『未来』	(月刊)	未来社
『ちくま』	(月刊)	筑摩書房
『U P』	(月刊)	東京大学出版会
『書斎の窓』	(月刊)	有斐閣
『学燈』	(月刊)	丸善
『月刊百科』	(月刊)	平凡社
『春秋』	(月刊)	春秋社
『書窓』	(月刊)	東洋経済新報社
『本の窓』	(不定期)	小学館
『評論』	(月刊)	日本経済評論社
『創文』	(月刊)	創文社
『蟻塔』	(月刊)	共立出版
『リポート笠間』		笠間書院
『くうりえ』	(季刊)	東出版
『子どもの本』	(月刊)	日本児童図書出版協会
『同朋』	(月刊)	同朋舎

\*愚かものだけが貸す三つのもの、本、雨ガサ、金。

(D・W・ジェロルド)

## 12 出版情報誌・書評誌(紙)一覧

誌(紙)名	(発行頻度)	出版社
『これから出る本』	(月二回刊)	日本書籍出版協会
『近刊情報』	(旬刊)	出版ニュース社
『出版ニュース』	(旬刊)	出版ニュース社
『新刊ニュース』	(月刊)	東京出版販売
『新刊展望』	(月刊)	日本出版販売
『出版情報』	(月刊)	日本出版販売
『全国書店新聞』	(旬刊)	日本書店組合連合会
『日本読書新聞』	(週刊)	日本読書新聞社
『週刊読書人』	(週刊)	読書人
『図書新聞』	(週刊)	図書新聞社
『新聞之新聞』	(日刊)	新聞之新聞社
『新文化』	(週刊)	新文化通信社
『文化通信』	(週刊)	文化通信社
『出版時事』	(旬刊)	出版時事
『P S ジャーナル』	(不定期)	P S ジャーナル社
『絵本』	(月刊)	盛光社
『50冊の本』	(月刊)	冬樹社
『アクセス』		地方・小出版流通センター

\*人生についての知識のない本は無用だ。

(サミュエル・ジョンソン)

## 13 本の知識

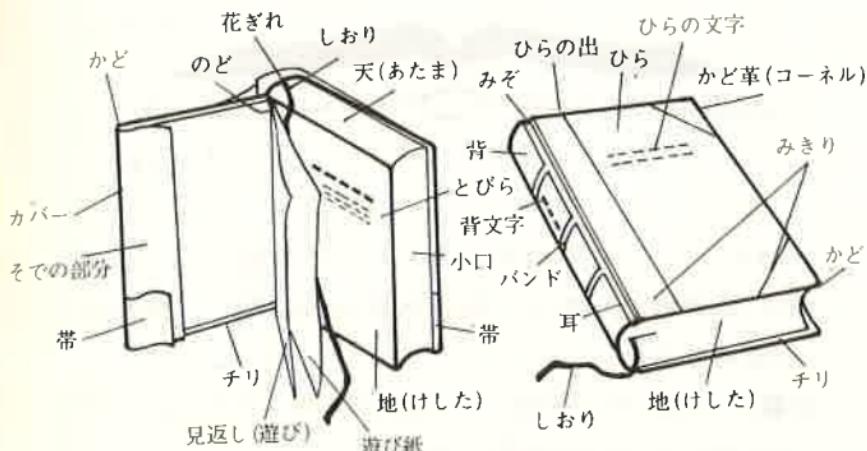
### 1 本の概念

〈本〉 「本」とは物事の本(もと)の意味からおこった名称で、元来、根本・原理のことである。それがいつのまにか図書や書物と同じ意味に用いられるようになった。

〈図書〉 昔は「ずしょ」と読み、図面と文書の総称であった。現在は「としょ」と読み、本・書物と同義に用いられている。

〈書物〉 「かきもの」「しょもつ」の二つの読みがある。前者は広く書かれたものを意味し文書と同義、後者は現在の本を連想させる意味をもち、同義に文籍がある。

### 2 洋装本の各部名称



\*本を読むということは何だろう。精神に食物を提供することだ。あるいは精神に運動場を授けて、体操をやらせることだ。本当の勉強の相手は現実だ。

(きだ・みのる) 35

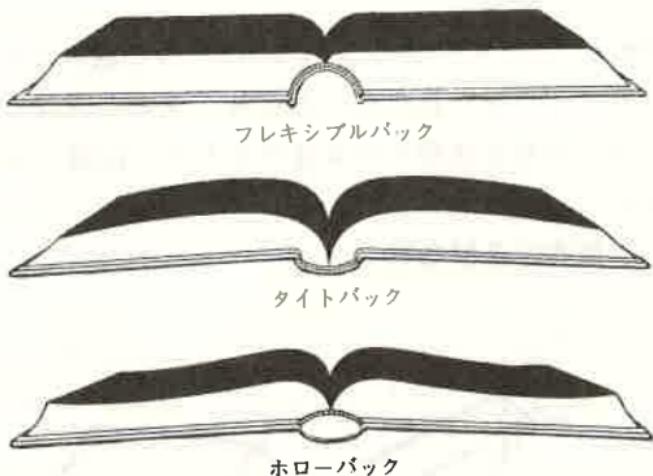
**〈表紙〉** 表紙は、書物の中身の保護、内容の表示、装飾などを目的とする外装である。

表紙は普通、表表紙と裏表紙とに分かれている。

**〈背〉** 背は表紙の一部である。背は書物を書架に立てた場合でも見えるところであるため、書名を入れるのが普通で、著者名・出版社名を加えることもある。背に入れる文字を背文字という。

#### 本製本の背の様式

##### 背の3様式



**〈とびら〉** とびらは書物の入口に当たる部分で、とびらには著者名・書名・発行所名などが掲げられるのが普通である。

**〈口絵〉** 口絵とは巻頭に入る挿絵のことである。とびらの次に入るのが普通である。

---

\*道徳的な本とか、不道徳的な本とかがあるわけではない。上手に書かれた、あるいは下手に書かれた本があるだけだ。 (ワイルド)

**〈序文〉** とびら・口絵などの次に入るのが序文である。

序文は序・はしがき・まえがきなどともよばれる。

**〈目次〉** 目次は序文や凡例に続いて、本文の内容を一覧させるために設けられるもので、本文に記述される主要な見出しを順序を追って列記し、そのページ数を表示したものである。

**〈本文〉** 本文は、書物の主体部分をなすもので、内容的には前付・後付を除いた部分のことである。

前付には、とびら・口絵・献辞・序文・凡例・目次などがあり、本文に続く後付としては、付録・索引・あとがき・奥付などがある。

**〈ノンブルとページ数〉** ノンブルとは各ページの順序を示す数字をいい、ページ数とはページの数量を示すものである。

**〈ページと丁〉** ページとは紙葉の片面のことであり、表裏二ページつまり紙葉一枚のことを丁という。

**〈見出し〉** 標題ともいい、内容が一目でわかるようにしたもので、行頭および編・章・節などの見出語をいう。

**〈索引〉** 本文中の重要な語句・術語・人名・地名などを抽出し、それからの本文所在のページを記載したものである。

**〈奥付〉** その書物の書誌学的に必要と思われる事項をまとめて記したもので、普通は巻末につけられる。一般には、著者の検印・書名・定価・発行年月日・版数(刷数)・著訳編者名・著作権者名・発行者・発

---

\*面白くて、やさしく私をくすぐる書物か、でなければ、じぶんの生と死を調節するにあたって慰めとも力ともなるような書物を。(モンテーニュ)

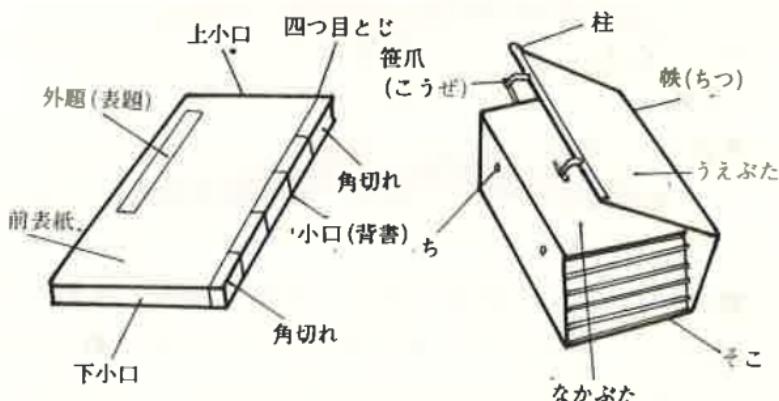
行所名とその所在地、その他印刷・製本所名、著者の略歴などが記載される。

〈カバー〉 書籍の表紙の上にかけるおおい紙のことだが、最近は紙のほかにグラシン、ビニールなども材料として使われている。

〈帯紙〉 書籍の表紙または外函の下部に巻いた帶状の印刷物で、帯または腰帯ともいう。

〈しおり〉 スピーンともいい、書物の背のとじ目に縫いつけられたり、貼りつけられたりしているひものことである。

### 3 和装本の各部名称



〈とじ方〉 和装本のとじ方にはいろいろ方法があるが四つ目とじが一般的である。

---

\*読書は充実した人間をつくり、会議は覚悟のできた人間を、書くことは正確な人間をつくる。（ベーコン）

**〈表紙〉** 本の中身を包んだもので、表紙たは 裸紙とも書く。前の表紙を前表紙といい、後の表紙を後表紙という。

**〈外題〉** 表紙の左上や中央に書名をしたものを外題といい、また表題ともいう。表紙に貼りつけたものを貼り外題といい、正しくは題簽といっている。

**〈小口〉** 本の紙の切口を指し、上方を上小口、下方を下小口という。下小口に書名・巻数または著者名をしたものを小口書とよんでいる。

**〈巻頭〉** 本文の第一枚目を巻頭とよび、巻頭にある書名を首題または巻頭書名といっている。

**〈丁〉** 和装本ではページとはいわないで、表裏二ページを一丁と数える。

**〈奥書〉** 本の終りに、その著作その他のことをしたものを奥書(おくがき)という。版元の場合には、出版年月日、発行所(版元)の住所・名前などをし、これを刊記といっている。刊記が巻末にある場合はこれをとくに奥付という。

#### 4 本の流通の知識

**〈版元〉** 図書の発行所。出版社のこと。

**〈取次店〉** 出版社と小売書店との間に立って、出版物の発送と集金を引きうける業者で、百数十社がある。大手六社に東京出版販売(株)・日本出版販売(株)・日本教科図書販売(株)・中央社・栗田書店・大阪屋がある。

**〈小売書店〉** 小売店ともいい、直接購買者を相手とする店である。

---

\*本はたくさんまちがいがあるから面白いのかもしれない。すこしも矛盾したところがなかったら、それは実際つまらないものだろう。(ゴールドスミス)

〈スリップ〉 短冊ともいい、本にはさみこんである版元・書名等が印刷されている紙片のこと。注文伝票として使用されている。

〈地方・小出版流通センター〉 地方出版物・小出版社の出版物を一堂に集めて販売している。昭和五十二年四月オープン。所在地・〒 101 東京都千代田区神田小川町三-14 第一万水ビル2階

電話 [ ] 番

## 5 その他

〈辞典と事典〉 「じてん」といっても、その内容から区別すると、およそ二つに分けることができる。一つは、辞典・辞書・字引などといい、言葉を集めて一定の順序に並べ、その読み方・意義・語源・用例などを解説したものであり、他の一つは、いわゆる事典であって、いろいろの「ことがら」を集めて一定の順序にならべ、一つ一つに解説をつけたものである。「事典」は「ことがら」を解説するという点で、言葉の解説をおこなう「辞典」と区別してつくられた語である。

〈乱丁〉 書物のページの順序が綴じ違っていたり、破損・汚損していること。

〈落丁〉 書籍・雑誌などの製本の際、誤ってページのぬけ落ちること。

〈単行本〉 叢書または全集などに対し、一冊一冊単独に刊行した本の呼称。

〈ムック〉 雑誌(MAGAZIN)と本(BOOK)の合成語。

---

\*ふたりは昼も夜も聖書をよんだ。だが私が白と読んだところをあなたは黒とよんだ。(ウィリアム・ブレーク)

- 〈情報誌〉** 主として若者向きに、映画・演劇・音楽・ファッションなどの情報をストレートに伝える雑誌。
- 〈稀購本〉** 世間に流布されていない珍しい本。
- 〈限定本〉** 部数を限って出版する図書。
- 〈初版〉** 刊行された図書の最初の版。第一版。
- 〈重版〉** 版数を重ねること。
- 〈バックナンバー〉** 雑誌の既刊号。
- 〈図書券〉** 図書に関する商品券。
- 〈定期〉** 定期購読誌(書)の略称。



## 読書の記録

## 讀書の記録

## 讀書の記録



